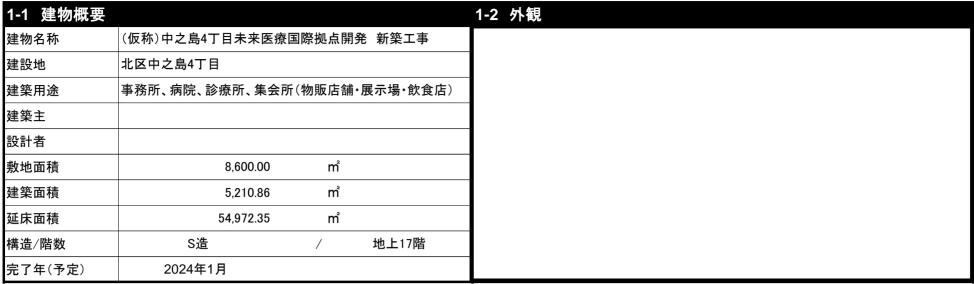
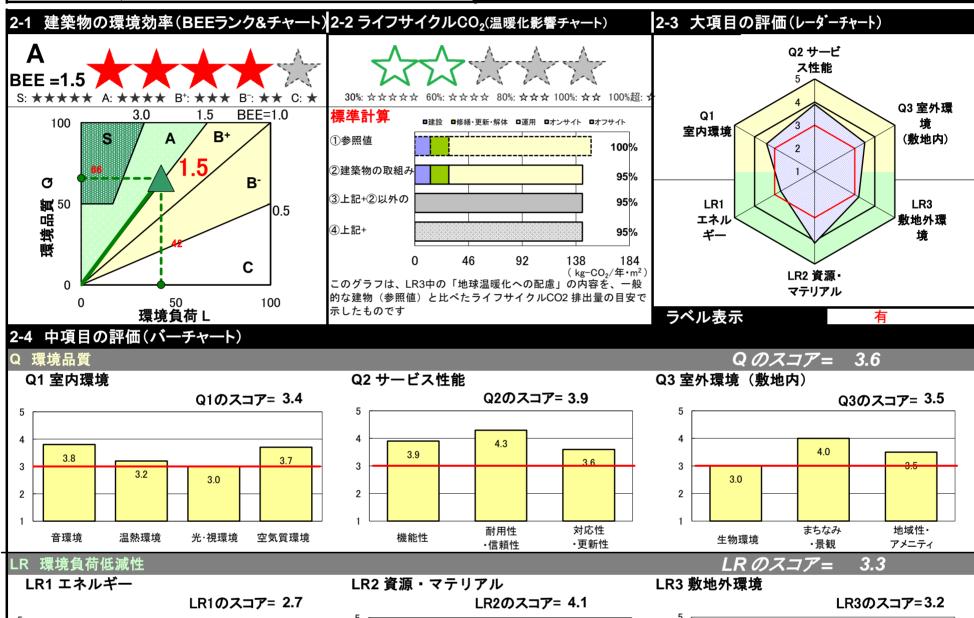
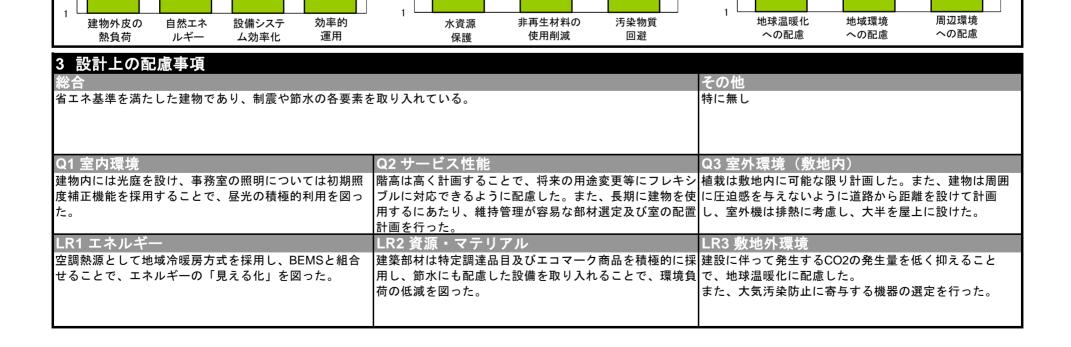
R03-077.xlsx 計画概要書

◆ MASBEE 建築物総合環境計画概要書 新築

■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2







3.8

3

3.0

2.3

4.0

3.0

4.0

R03-077.xlsx 環境表示結果

建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 1.5

ラベル表示



環境性能		評価点		省エネ基準連合 エルギー削減 からいた利用した議会主の自己評価核果では、対すて終文を開きなか。		
(1)CO2削減		3.0		「CASBEE 大阪みらい 新業」2018年版 受付番号 令和3年度 Na077		
CO2削減に配慮した環境性能				概要記入欄		
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮	3.1				
配慮事項	LCCO2:95%					

環境性能		評値	西点	
(2)みどり・ヒートアイランド対策		3.0		
みどり・ヒートアイラ	ンド対策に配慮した環境性能			概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出	3.0		
Q3 / 3 /3.2/	敷地内温熱環境の向上	3.0		
LR3/ 2 /2.2/	温熱環境悪化の改善	3.0		
配慮事項	敷地内には可能な限緑化を	計画し	た。	

環境性能		評価点		
(3)建物の断熱性		3.	0	
CO2削減に配慮した環境性能				概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制	3.0		
配慮事項	BPIm=1.00以下			

環境性能		評価点		
(4)エネルギー削減		2.0		
CO2削減に配慮した環境性能				概要記入欄
LR1/3//	設備システムの高効率化	2.3		
配慮事項	BEIm=1.00以下			

省エネルギー基準計算結果

基準 適合状況 適合

- ※ 外皮性能については、住宅部分が等級4(相当)以上、非住宅部分が1.0以下であること
- ※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること(新築時) (基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること)

<u>住宅部分(品確</u> 法等 外皮性能 - (相当	0.97	
<u>建物全体[BEI][BEIm]</u> 一次エネルギー消費量 0.94	住宅部分[BEI] -	非住宅部分[BEI][BEIm] 0.94

R03-077.xlsx 検討(太陽光)

再生可能エネルギー利用設備導入検討シート(太陽光発電設備用)

1	設備導入の検討		
1	周辺環境の把握		
2	日照条件の検討		
	ア 検討対象とする場所	■ 屋根部 地上高さ(58.79 79.92)m	
		□ 地上部 (□ 空地部分 □ その他)	
		□壁面	
		□ その他 ()	
	イ アの周囲における日射遮蔽物	■ なし	
		□ あり	
		方位 ()高さ(約)m 水平距離(約) m
		方位 ()高さ(約)m 水平距離(約) m
		方位 () 高さ(約) m 水平距離(約) m
		方位 () 高さ(約) m 水平距離(約) m
) m
	 ウ 日照の確保 (冬至)	■ 十分 □ 不十分	
3	日照条件に適合する場所の検討		
	ア 設置可能面積等	(281.8) m方位 (真南) 設置角度 (15)度
		(112.7) m ²	
		(16.5) kw	
	 エ 利用設備に対する荷重対策	■ あり □ なし	
		□ なし ■ あり (例:設備用基礎の設置)	
)
4			
杉	検討結果 ■ 導入する →具体的	的な検討を行い、実際に設置する設備概要を 2 に記入	
	□ 導入しない		
	導入を見送る理由(複数	效選択可)	
	□ 日照が確保できない		
		きていない	
		所を確保できない	
	■ 費用負担が大きい		
		、将来対応可能とする	
	□ その他 ()
2	<u></u> 導入する設備の概要		
	ア 太陽光パネル面積	(61.5) m ²	
		(11.7) kW	
			<u>_</u>
備和	5		
メン	テナンススペースを確保している為		
	ᄀᄀᆣᄜᄊᆙᅕᆘᆍᅝᆧᄼᄼᄼᅚᄜ	ᄀ쏘ᇛᇄᄱᆄᇽᇍᆍᆂᆛᆉᄱᄡᅺᄱᄼᅠᄲᆉᄱᄱᇩᇰᇭᅩᆠᆕ고ᆠᅮᄼ	
汪	Z/ 太陽光ハイル面槙か、13イ設置	『可能太陽光パネル面積と大きく異なる場合、 備考欄にその理由を記入してください。	

R03-077.xlsx 検討(太陽熱)

再生可能エネルギー利用設備導入検討シート(太陽熱利用設備用)

1 設備導入の検討						
① 周辺環境の把握						
② 日照条件の検討						
ア 検討対象とする場所	■ 屋根部 地上高さ(58.79 79.92) m					
	□ 地上部 (□ 空地部分 □ その他)					
	□壁面					
	□ その他 ()					
イ アの周囲における日射遮蔽物	■ なし					
	□ あり					
	方位 ()高さ(約)m 水平距離(約) m				
	方位 ()高さ(約)m 水平距離(約) m				
	方位 ()高さ(約)m 水平距離(約) m				
	方位 ()高さ(約)m 水平距離(約) m				
	方位 ()高さ(約)m 水平距離(約) m				
ウ 日照の確保(冬至)	■ 十分 □ 不十分					
③ 熱需要の条件等の検討						
ア 建築物の用途	車效品 序院 沙房品 焦入担/咖啡内盆 屈二担 幼命内					
	事務所 病院 診療所 集会場(物販店舗·展示場·飲食店)					
イ 熱需要対象用途	■ 冷房 ■ 暖房 ■ 給湯 □ その他()				
ウ 設置可能面積	(281.8) m ²					
工 概算年間熱利用量	(613,479)MJ/年					
オ 利用設備に対する荷重対策	□ あり ■ なし					
カ 設置に備えた対応	■ なし □ あり (例:設備用基礎の設置)					
	()				
④ 導入判断						
検討結果 □ 導入する →具体的	的な検討を行い、実際に設置する設備概要を 2 に記入					
■ 導入しない						
導入を見送る理由(複数	, 过選択可)					
□ 日照が確保できない						
□ 年間を通じて安定した	こ熱需要がない					
□ 躯体が荷重に対応で	きていない					
□ 敷地内に設置する場	所を確保できない					
■ 費用負担が大きい						
┃						
□ その他 ()				
2 導入する設備の概要						
ア 集熱パネル面積	() m ²					
イ 概算年間熱利用量	() MJ/年					
ウ 熱需要対象用途 □	冷房 □ 暖房 □ 給湯 □ その他 ()					
/#=#z						
備考						